令和5年度　地域とつくる支援の輪プロジェクト全体会

1　日時

令和５年12月16日（土）　15時～17時

2　出席者

合計　56名

3　実施内容

（１）地域とつくる支援の輪プロジェクト活動報告
　ア　第１回　「こども・若者にとっての交流の場・居場所とは」について
　イ　第２回　「大人に伝えたい事」について
（２）区の取組み報告
　令和５年度長期休暇中の子どもの居場所づくり補助事業について
（３）意見交換（ワールドカフェ方式）
　テーマ：「こども・若者にとって居心地の良いと思える大田区とは」
（４）行動宣言
　「わたしの行動宣言」：意見交換の中で取り入れたいと思った気づきをもとに、参加者が、明日から実行したいと思うこと
（５）発表・まとめ

4　「わたしの行動宣言」発表の内容（一部抜粋）　■：行動宣言

（１）　Aさん（大人）
■心の居場所づくり。その時、その歳、その事で居場所は動く。無理をせず、出来ることからありのままで。

・居場所はどんどん動くものだと思う。一つの場所ではなく沢山の場所にあるもの。
・グループワークの中で発表させていただいたのは、いくつになっても幼稚園の先生の言葉や学校の先生の言葉は覚えていて、あの一言で自分は変われたというようなことがたくさんある。そういった小さなことからいつか思い出してもらえるような人でいたいなと思う。

（２）　Bさん（大人）
■「人と関わることってあったかいよ！」と思ってもらえるきっかけ作りをします！

・若者の生の話を聞いたときに、「人と関わることは、めんどくさい」という言葉があった。
・「人と関わることはあったかいんだな」と思ってもらえるきっかけを私たち大人が作っていけたらいい。

（３）　Cさん（こども・若者）
■大田区の同世代のこどもたちに、大田区でどのような活動が行われているかシェアする！！

・今日話を聞いて、大田区ではこんな活動があったのかなど、初めて知ることばかりであり、いち高校生としてそれを知る機会がまったくなかった。
・若者である自分がSNS等を通じて発信していくことで、「同世代の子がシェアしてくれるなら、自分も行ってみよう」というきっかけになると思う。
・活動している大人と、困っている若者たちの架け橋になれればいいなと思う。

（４）　Dさん（大人）
■地域（大田区）のことを知る。自分たちのことを知ってもらう。

・自分たちができることは限られているが、色々な活動をやっている方と手を取り合っていくことで、「こども・若者にとって居心地のよい大田区」に向けて協力ができると思った。
・若者の意見を聞いて、大人とこども・若者と分けるのではなく、一緒に行動できるのではないかという気持ちをもらった。

（５）　Eさん（こども・若者）
■まずは、今面倒を見ているこども達の居場所を守り、その場が半永久的に残るように動きたいです。無理をせず、手の届く範囲で。

（６）　Fさん（大人）
■この場に教え子を呼ぶ。学校におもしろい大人を呼び続ける。

・今回教え子が一人来ているが、すごく成長したと思う。
・こどもは、学校にいる時間が圧倒的に長い。その長い時間を豊かにしていきたい。
・こどもと大人をつなげるという機会を授業等に取り入れ続けたいと思う。

（７）　Gさん（こども・若者）
■〝人と人がつながる楽しさ〟に気づいてもらう（気づかせる）

・友達の中に、人とのコミュニケーションの取り方がわからず、嫌がらせのような方法をしてしまう子がいる。そういう子は、「人と人とで話すことが楽しい」と感じることがないのかなと思う。
・元々自分は小学生の頃、とても人見知りだったが、中学校に入って色々な人に出会って、人と関わるのはやっぱり楽しいと思うようになった。
・大人、こどもに関係なく、こどもたちが色々な人と交流することで、ネットワークや居場所ができるとよい。

（８）　Hさん（大人）
■たくさんの人に出会う、つながりをつくる。新しい価値観を知る努力をする。

・当会において、非常に多くの出会いや学びがあった。
・価値観を知ることは、自分自身や社会を豊かにしていくことなのではないかと思う。
・今日は若い世代の価値観を知ることができて、驚いたり、大変勉強になったりした。
・印象に残ったのは、「支援の輪はめぐる」という言葉だった。
・自分も支援の輪を広げ、色々な人が支える、支えられるネットワークを作れたらいいなと思った。

（９）　Iさん（こども・若者）
■自分の出来ることから始める。視野を広く持つ。

・今日ここで色々な意見や出会いがあったが、それをどれだけの人が本当にこれからの活動につなげていけるか、つなげてくれるのか。
・色々な意見を聞いて、色々な人とのつながりがあっても、一週間後に忘れてしまう人もいると思う。自分自身も、色々な意見を聞けてよかったなと満足してしまって、それで終わりとなってしまうことがよくある。
・自分の感じたことを形にするのはすごく難しいことではあるが、今後、具体的に「居場所づくり」などをやっていかなければ意味がない。
・こういったネットワークの中で、少しずつ自分のできることから始めたいと思う。
・頭ごなしに「これはちがうのではないか」と否定せずに、色々な方の意見を取り入れつつ、自分の活動につなげていきたいと思う。

（10）　Jさん（大人）
■若者の話を聞く。

・ボランティアで来てくれる中高生などに対し、大人の経験から、話を遮って「いやそれは・・・」と言ってしまうことがある。
・これからはとにかく最後まで聞いて、なるべく余計なことをいわずに応援してあげるというスタンスをとっていきたいと思った。
・それをまず、自分の息子に対してやっていこうと思う。一般的にも、父親を疎ましく思うところはあるだろうが、コミュニケーションをとって、息子から話しかけてもらえるようになることが目標である。

（11）　Kさん（大人）
■もっともっとたくさんの人同士をつなげていきたい。
・困っている家庭がいる一方で、それを助けたい何とかしたいと思う人たちもいっぱいいる。
・そういった方々をいかにつなげるかが必要になってくる。
・「居心地がよいと思える大田区」というテーマだが、「居心地のよさ」は最終的には人と人とのつながりだと思う。
・つながった人同士が、地域にはこういうつながりや経験があるのだとひとつずつ感じることによって、「この地域に生まれてよかった」「この地域で暮らしたい」と思えるようになる。
・引き続き、地域の人たちやこどもたちとつながりをもっともっと作っていきたい。

（12）　Lさん（大人）
■たくさんのこどもたち、親子さんにたくさんの本を紹介する！こどもの心を育てたい！
・こどもに本を紹介するという活動を行ってきたが、一緒にいるお父さん・お母さんたちもこどもと一緒に本を聞いていると、とても笑顔になってくる。
・そのお父さん、お母さんの笑顔を見るこどももまた笑顔になるという相乗効果をたくさん見てきた。それを見ている私達も笑顔になるという素敵な空間、時間をいっぱい経験してきた。
・これからも「こどもたちの心を育てる」ことを頑張っていきたい。

（13）　Mさん（こども・若者）
■こどもたちの自主性を尊重する。ゆとりのある居場所をつくる。
・こどもたちがやりたいことをできる居場所を作りたいという思いから、この宣言にした。
・こどもたちがやりたいという声の中に、「WIFIの完備」が挙がっている。「WIFIがあるから行こう」という居場所に行くきっかけにもなる。
・今日の意見交換の中で、まずはこどもたちの意見を優先して、そこから自分たちで挑戦していくのもいいのではないかという話があった。
・このようにこどもたちの声を尊重できるような居場所を作りたいと思う。

（14）　Nさん（大人）
■こどもたちの声を聴く！逆に居心地の悪い場所とは？
・こどもたちにとって、「居心地の悪い場所」っていっぱいあるのでは？という話になった。
・こどもたちは色々思いを持っていても、すぐに本音が言えなかったり、何かきっかけがあった方が話しやすかったりする。
・そういう時に、「居心地のよい場所」と聞いても言えないケースもあるかと思うが、逆説的に「居心地の悪い場所ってどんなところだろう？」ということを少しずつこどもたちと話し合っていくことによって、「居心地のよい場所」のヒントがあるのではないかと思う。
・このようにこどもの声を聴く、向き合うという活動をこれからやっていきたい。

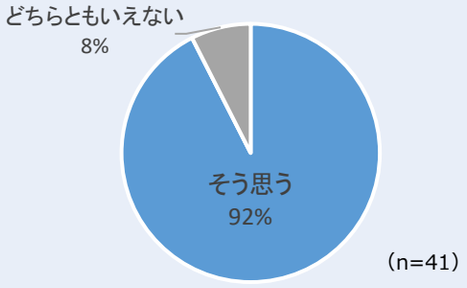
（15）　Oさん（大人）
■その人らしい表現を促す、支える、共有する。
・「工作の時間を入れてみたらこどもたちがとても生き生きしてきた」などの話を聞き、こどもらしい自由な表現が出来る場所が、一番居心地が良いのではと思った。
・その人の言葉や、アートという形などでも、その人らしさを受け入れてくれるというのが大事だと思った。その人らしさを促すような１対１の関係性を作り、支えていきたい。
・また、この人はこんなに魅力的だよというのを一緒に共有できるような人間関係を築いていくことが、居心地のよい場所につながるのかなと思った。

（16）　Pさん（大人）
■できることはする。大人も楽しむ。否定しない。
・シングルマザーでこどもを３人育てており、自分も孤立してしまっていた。そのときに助けてもらったのがこども食堂だった。
・自分ができることをやっていきたいと思ったときに、友人に声をかけてもらって一緒にこども食堂を手伝い始めた。
・一方的に否定をすると、こどもは感情的になってしまったりするので、意見交換の中でも出たことだが、どんな人でもまずは受け入れていきたいと思った。

5　参加者の感想・意見等（一部抜粋）

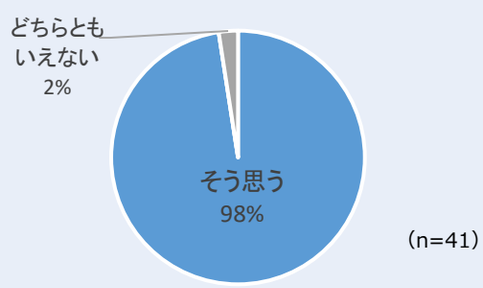
・「人と人とのつながり」というフレーズが多く出たこともあり、再度一人一人とのコミュニケーション場面を大切にしていきたいと思った。
・様々な活動を知り、共感できる意見を聞けた。それぞれの立場で活動を続け、ネットワークを大切にしたい。
・居心地が良いというのは、人から始まると思いました。
・個々の活動をどうつなぎ、コーディネートするかが重要だと思いました。まずは、区内の資源を共有でき、活動を知り合う機会をつくってはどうでしょうか。
・どの方の意見も大変勉強になりました。聞き足りないし、今後も深堀し、具体的な活動に移して、確実にこども・若者が「良くなった！」という言葉が出てくるよう成果を上げたいです。
・若い者たちの声を聞く貴重な機会になりました。また、日ごろ活動しているフィールド以外の方たちと多く出会え、話をすることができ大変勉強になりました。
・区内で様々な形で活動されている方々の話を聴くことができ、大変有意義な会でした。
・決まり決まったメンバーが参加するのではなく、今日のような会議は年一回でも、有効なものだと感じます。
・もっともっと若者の意見を聞きたかったので、参加できるように働きかけをした方が良い。
・こども・若者を応援したいと思う大人の熱い思いを伺うことができ、あしたからの糧にしていきたいと思った。
・皆さんのそれぞれの立場から、こども・若者の対して真剣に取り組んでいらっしゃることがよくわかりました。これだけの大人がいるのだから、きっと大人はもっともっと魅力的な大田区になるのではないかと思います。
・「笑顔」がキーワードだと思った。周りの人、特に大人が笑顔でいると、とても居心地が良いと感じる。

<ネットワークを広げるきっかけとなった>



（n=41）

<今後の自身の生活、活動、業務等の参考になった>



（n=41）

＼　大人からこども・若者へのメッセージ（一部抜粋）　／

☆ 勇気をもって、大勢の前で発表してくれてありがとうございました！
☆ 応援しています、一緒にがんばろう！
☆ こどもの声をもっともっと聴かせてほしいです。
☆ あなたの話を聴いてくれる大人がいるよ。
☆ 大人も完ぺきではありません。一緒に育っていきましょう！